

令和5年度 学校関係者評価実施報告書

学校番号	1	学 校 名	沼津視覚特別支援学校	記 載 者	三田 薫子
------	---	-------	------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者 評 価	意 見
ア	視覚障害に留意した「主体的に学び思考を深め表現する授業づくり」	・研修や授業公開が授業改善や授業力向上に繋がった教員 100%	職 AB 100% 職 C 0% A 職 D 0% ＜保護者＞ 主体的に学んだり伝えたりする教育活動が行われている。 AB 94.5% B	A	・入学して子どもの活動の幅が広がっており、先生方には感謝している。 ・授業について学校と家庭の情報共有は大切で、連絡帳等で丁寧にやりとりされているが、学校が全て伝えるのではなく、子供が自ら家庭で話すことも意識していくとよい。
	視覚障害教育に必要な専門性の向上（ICT 活用や情報保障を含む）	・自身の専門性の維持・向上ができた教職員 90%	職 AB 100% 職 C 0% B 職 C 0% ＜保護者＞ 視覚障害に配慮した教育活動が行われている。 AB 100% A	A	・自己評価 100%は容易ではないが、先生方の意識が高く、結果にあらわれている。
イ	将来を見据え各ステージで大切にしたいことを意識した指導	・学習会や進路指導課からの情報共有がキャリア指導の役に立ったと答える教員 90%	職 AB 100% 職 C 0% A 職 D 0% ＜保護者＞ 保護者面談を通して、幼児児童生徒の将来について考える機会を持てた。 AB 94.5% B	A	・ほとんどの保護者自身は視覚障害がないので、子どもの将来を考えたときに不安だと思うが、学校の情報提供への要望だけでなく、卒業生や在校生とのつながりを大切に、自身で情報収集することも大事。
	心身の健康の保持・増進	・幼児児童生徒が献立や食品、地域の産物に対する興味関心を広げることができたと答える教職員 90%	職 A 97% 職 C 3% A 職 D 0% ＜保護者＞ 幼児児童生徒が、献立や食品、地域の産物への関心が広がった。 AB 94.5% B	A	・給食づくり隊の給食の野菜の下準備の活動はとてもよい。プチヴェールを買って家でもやってみたい。

様式第 5 号

ウ	超早期から成人までの切れ目のない教育相談の充実	・保健センター保健所への理解推進活動 年間 4 回 ・共感的な雰囲気ですぐ安心と満足感をえられる教育相談	職 AB 100% 職 C 0% A 職 D 0%	A	・必要な方に情報が届くようにするためには保健師さんにはこの学校のよさを知ってもらうことが一番効果的と感じる。保健センターに理解推進に行っているはよい。
	本校と視覚支援について東部地区における理解推進	・アンケートを実施し、訪問により、理解が深まった 80%	職 AB 100% 職 C 0% A 職 D 0% <保護者> マッサージ奉仕等を通して、本校の視覚障害教育の理解推進がされている。 AB 77.8% B	B	・盲学校に対する誤解が相変わらず多いと感じる。一般的な勉強をしていないと思っている。理解推進活動は大切。 ・本校のHP等のQRコードを各団体に配るとよいのでは。
	地域における人との関わりの拡充	・花壇作りを通して地域の方との関わりが持てた児童生徒 80% ・地域やイベント等でのマッサージ奉仕年 5 回以上	職 AB 94% 職 C 6% A <保護者> 花壇づくりなどの活動を通して、地域の方との交流活動が実施されている。 AB 77.8% B	B	・マンホールトイレ設置訓練やマッサージ奉仕、など伝統的な地域の行事として関係をもていて良い。 ・直接関われる活動がよい。花壇づくりは、地域の方とたくさん関わればよかった。
エ	一人一人が緊急時や発災時にどのように動くかわかる緊急体制の整備	・緊急時に自分で判断し、自信を持って避難行動、緊急時の対応が行えると思う教員 80% ・地域と防災協力を行うことができたと感じる地域の人、職員 80%	職 AB 100% 職 C 0% B 職 D 0% <保護者> 緊急時・発災時の対応についての取組がされている。 AB 94.5% B	A	・被災時に視覚障害者が避難所で対応してもらえなかったと聞いていて心配に感じる。 ・より具体的な場面を想定して訓練を行うのがよい。
	児童生徒が安全安心に活動でき、魅力的な環境の整備	・学校環境の不備を原因とした事故の発生 0 ・校内に自分の好きな場所があり、伝えることができる幼児児童生徒 80%	職 AB 100% A <保護者> 学校設備が安全で安心して活動できる魅力的な環境として整備されている。 AB 94.5% B	A	・子どもたちが好きな場所があることは良いこと。 ・何か環境整備で学校の要望があれば協力したい。

様式第 5 号

オ	専門性向上と授業準備ができ、魅力的な環境の整備	・放課後が有効に活用できたと考える教員 90%	職 AB 97% 職 C 3% 職 D 0%	A	A	・会議の精選等をして、時間を効率よく使えることは大切。
	個々の強みを活かした風通しのよい職場づくり	・同僚と相談、協力し合いながら、高めあうことができたと思われる教職員	職 AB 84% 職 C 16% 職 D 0%	B	B	・職員間のよい関係づくりは学校以外の職場でも課題が多いが、十分良い結果がでている。更によい関係を目指してほしい。